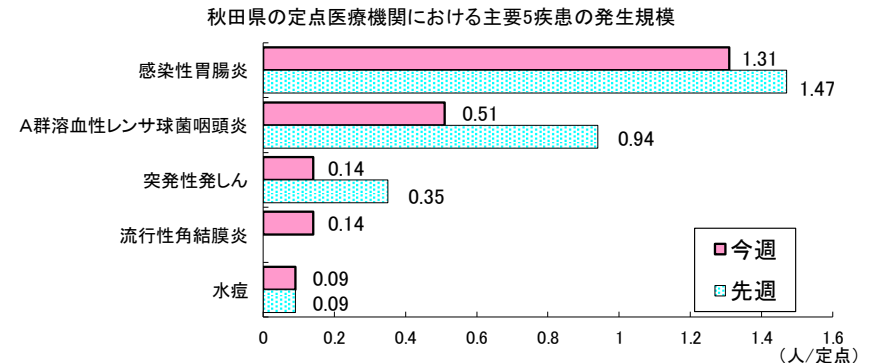




【第8週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で11%減少しています。保健所別では、大館、能代、秋田中央、横手で増加、湯沢で同規模、秋田市、大仙で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で46%減少しています。保健所別では、能代、湯沢で増加、秋田市、秋田中央、大仙、横手で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で60%減少しています。保健所別では、湯沢で増加、北秋田で同規模、秋田市、大館、秋田中央、由利本荘、大仙で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢					
	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減	第7週	第8週	増減						
RSウイルス感染症																																	
インフルエンザ																																	
咽頭結膜熱	0.12	0.06	↘	0.33		↘	0.25		↗							0.25		↘				0.25		↗				0.25		↘			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.94	0.51	↘	1.50	0.71	↘							0.67		↗	1.75	1.25	↘				2.50	1.00	↘	2.00	0.33	↘				0.25		↗
感染性胃腸炎	1.47	1.31	↘	3.33	2.86	↘	0.25		↗				2.00	2.33	↗	2.00	2.25	↗				3.25	1.00	↘				0.67		↗	0.75	0.75	
水痘	0.09	0.09		0.33		↘											0.25	↗				0.50		↗				0.33		↘			
手足口病																																	
伝染性紅斑	0.06	0.03	↘													0.25		↘	0.25	0.25													
突発性発しん	0.35	0.14	↘	0.83	0.29	↘	0.75	0.25	↘	0.50	0.50					0.25		↘	0.25		↘	0.25		↘							0.25		↗
ヘルパンギーナ																																	
流行性耳下腺炎	0.03		↘																0.25		↘												
川崎病																																	
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*				
流行性角結膜炎		0.14	↗							*	*		*	*		*	*								1.00		↗				*	*	
細菌性髄膜炎																																	
無菌性髄膜炎																																	
マイコプラズマ肺炎																																	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																																	
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																																	

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数があったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が湯沢保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から1人、百日咳が北秋田保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-7週		8週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	1808	6	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	2		
	腸管出血性大腸菌感染症	113		
	腸チフス			
	パラチフス			
四類	E型肝炎	87		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	9		
	エキノコックス症	2		
	黄熱			
	オウム病	1		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	5		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介感染症			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-7週		8週	
		全国	秋田	秋田	
四類	チクングニア熱				
	つつが虫病	56			
	デング熱				
	東部ウマ脳炎				
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)				
	ニパウイルス感染症				
	日本紅斑熱	1			
	日本脳炎				
	ハンタウイルス肺症候群				
	Bウイルス病				
	鼻疽				
	ブルセラ症				
	ベネズエラウマ脳炎				
	ヘンドラウイルス感染症				
	発しんチフス				
	ポツリヌス症				
	マラリア	3			
	野兔病				
	ライム病	4			
	リッサウイルス感染症				
	リフトバレー熱				
	類鼻疽				
	レジオネラ症	157	2		
	レプトスピラ症	1			
	ロッキー山紅斑熱				
	五類	アmeerバ赤痢	81		
		ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	15		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		210	3		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		4			
急性脳炎		45			
クリプトスポリジウム症					
クロイツフェルト・ヤコブ病		19			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		94	1		
後天性免疫不全症候群		114			
ジアルジア症		5			
侵襲性インフルエンザ菌感染症		35			
侵襲性髄膜炎菌感染症					
侵襲性肺炎球菌感染症		144	1	1	
水痘(入院例に限る)		26			
先天性風しん症候群		1			
梅毒		695	10	1	
播種性クリプトコックス症		14			
破傷風		8			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		10			
百日咳		76	2	1	
風しん		2			
麻しん					
薬剤耐性アシネトバクター感染症					
* 新型コロナウイルス感染症			120		

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<小児の肺炎球菌感染症について>

肺炎球菌は、健康な人でも鼻やのどの奥などにいることがある細菌で、菌を保有していても特に症状もなく日常生活を送っている子どもも多くいます。しかし、肺炎球菌による感染症は、髄膜炎や菌血症といった侵襲性肺炎球菌感染症を引き起こす場合があります(図)、注意が必要です。

■症状

肺炎球菌感染症の症状として、肺炎、中耳炎、髄膜炎などがあります。特に、肺炎球菌が髄液や血液といった本来菌がいない部位から検出された場合、侵襲性肺炎球菌感染症と診断されます。小児における侵襲性肺炎球菌感染症は成人と異なり、肺炎を伴わず、発熱のみを初期症状とする場合が多いとされています。また、髄膜炎は中耳炎に続いて発症する場合があります。

■予防

小児は、生後2か月から「沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン」を定期接種で受けることができます。初回接種については生後2か月以降～7か月までの間に接種を開始し、27日以上の間隔をおいて3回、追加接種については初回接種の3回目の接種を行ってから60日以上の間隔をおいて1回の接種を行うのが標準的なワクチン接種スケジュールとなっています。

※予防接種に関するご相談は、お住まいの市町村、かかりつけの医療機関等にお問い合わせください。

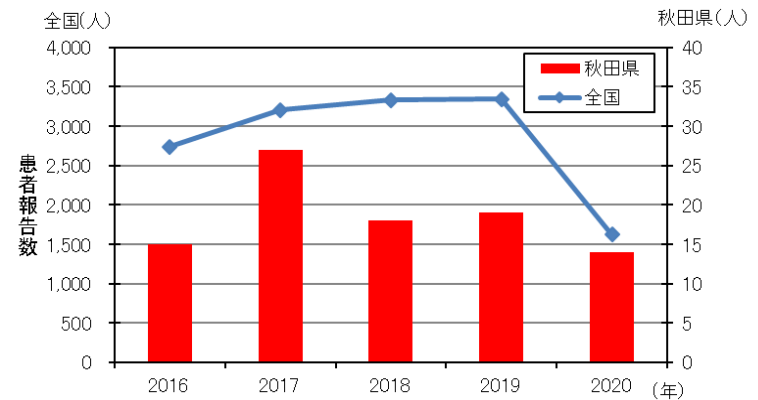


図 侵襲性肺炎球菌感染症の発生状況



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		